

災害時の医療救護マニュアルの策定概要

令和 3年 3月 1日

鳥取市保健所保健総務課

1 マニュアルの位置づけ

このマニュアルは、東部圏域において大規模な災害が起きた場合に、本市(医療対策部)が、「鳥取市地域防災計画」及び「鳥取市災害医療活動指針」に基づき、県、4町、消防機関、医療関係機関等との協力・連携して医療救護活動を行うことができるよう、具体的な取り組みを明示し、実効性を確保することを目的とする。

2 災害時の医療救護マニュアルの構成

章	項目	主な内容
第1章	災害時の医療体制	本市(医療対策部)の組織体制と役割
		関係機関の役割
第2章	災害時医療の活動内容	本市(医療対策部)の活動内容
		医療救護所の活動内容
		医療機関の活動内容
		災害医療関係機関(三師会)の活動内容
		医薬品・医療材料の搬送・供給等
		要配慮被災者への対応
第3章	災害時医療救護活動の具体的な内容	傷病程度の判定・選別(トリアージ)
		応急処置
		傷病者の搬送
		遺体の検視、死体検案等

3 東部圏域の災害時の医療体制と主な役割

本市(医療対策部)の組織体制と役割を定めるとともに、東部圏域での医療救護における医療体制とその主な役割を記載する。

区分	主な役割
本市(医療対策部)	災害情報の収集・提供、関係機関との連絡調整・協力要請
医療救護所	傷病者の判定・選別、応急処置、傷病者の搬送、死体検案への協力
東部消防局	傷病者の救助・救命措置、搬送、他消防本部への応援要請
医療機関	傷病者への治療、自院での対応が困難な傷病者に対する必要な措置と医療対策部と連携した域外搬送の実施
三師会	会員の被災状況の把握、医療救護への協力
その他関係機関	本市からの要請(人材、物資)に対する協力

4 災害時医療の活動内容

(1) 本市(医療対策部)

区分	活動内容
関係機関との連絡体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・広域災害救急医療システム（E M I S）を活用した被災状況の把握 ・関係機関との通信手段の確認 ・職員派遣（情報収集チーム）による情報収集の実施
医療機関の受入把握と患者搬送の連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの傷病者の受入可否に係る情報収集と東部消防局との連絡調整 ・県に対する広域搬送の実施要請と中継拠点施設（S C U）の設置・運営
医療救護班の受入と派遣調整	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズに対応する医療救護班の派遣要請 ・医療救護班の派遣調整と医療ニーズの情報提供 ・医療救護班の派遣に係る関係機関との情報共有
4 町への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を巡回診察する医療救護班の派遣 ・避難所の巡回保健指導を実施する保健師チームの派遣
災害医療コーディネートチーム調整会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネーターの招集 ・コーディネートチーム調整会議の開催

(2) 医療救護所

区分	活動内容
医療救護所の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の設置 ・使用する医薬品、医療材料等の準備
医療救護活動	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病者の選別、搬送の優先順位の決定 ・応急処置の実施 ・後方医療機関への搬送 ・死体検案の実施

(3) 医療機関の活動内容

区分	活動内容
災害拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> ・重症者に対する診察・治療の実施 ・域内対応が困難な傷病者に係る応急処置と域外災害拠点病院への搬送の実施 ・D M A T の派遣
救急告示病院	<ul style="list-style-type: none"> ・重症者に対する応急処置と災害拠点病院への搬送の実施 ・中等症者に対する診察・治療の実施 ・医療救護班の編成への協力
後方医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・軽症者に対する診察・治療の実施 ・医療救護班の編成への協力

(4) 三師会の活動内容

区分	活動内容
東部医師会 東部歯科医師会 薬剤師会東部支部	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の被災状況、被災傷病者の受入態勢の把握 ・行政からの要請に応じた医療救護班の編成、会員の派遣 ・災害医療コーディネーターの派遣

5 災害時医療救護の具体的な活動内容

医療救護所において実施する医療救護について、その活動区分ごとの具体的な活動内容を記載する。

区分	活動内容
傷病者の判定・選別	<ul style="list-style-type: none">・ 傷病者の重症度や治療の緊急度により、処置や搬送の優先順位を決定する。(トリアージ)・ 一次トリアージ: 傷病者の状態を 30 秒程度で把握し、傷病者の“振分”を行う。(重症者(赤)、中等症者(黄)、軽症者(緑))・ 二次トリアージ: 傷病者の詳細なバイタルサインのチェックを実施、傷病者の症状の“選別”を行う。
応急処置	<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関に引継ぐための応急的処置として実施する。・ 止血を優先、創は水道水で洗浄し、汚染のない創は洗浄後テープ縫合。汚染創は開放し、縫合しない。・ 骨折は簡易固定に留める。
傷病者の搬送	<ul style="list-style-type: none">・ 治療の緊急度に応じて、原則として重症者(赤)を優先。・ 搬送は消防職員又は医療救護所の事務職員が従事。・ 搬送車両は消防局救急車の他、公用車や行政による借上車両を利用。可能な場合は家族搬送も検討する。
死体検案・検視等	<ul style="list-style-type: none">・ 災害による死亡は異状死となり、検察等による検視手続きが必要。(治療中の死亡を含む)・ 遺体の取扱は、死亡者の尊厳を損なうことがないように十分に配慮して対応すること。・ 検察官等による検視の後、医師が死体検案し、検案書を作成。(医療救護では傷病者の救護・搬送が優先されるため、死体検案は検察等から予め依頼された医師を中心とした対応となるが、必要に応じて死体検案への協力も想定される。)

災害時の医療救護マニュアル(案)に係る御意見への対応方針

令和3年3月1日

鳥取市保健所保健総務課

御意見等	対応方針
〈東部広域消防局〉 語句、記載事項の修正等	指摘事項を修正
〈鳥取赤十字病院〉 語句、記載事項の修正等	指摘事項を修正
〈鳥取市立病院〉 ・ 広域災害が発生した場合、東部圏域では医療救護が殆ど出来ないことが多く、超早期の段階で域外に搬出しなければいけないことが多分にあると考えられる。助かる命を助けられるよう十分に調整しておく必要がある。	・ 東部14病院及び透析医療機関等には、自施設の被害状況、患者受入の対応状況を把握し、広域災害救護医療システム(EMIS)への入力によって情報共有化に取り組んでいただき、市(医療対策部)としては、迅速な域外搬送の要否判断に繋げる。 ・ また、域外搬送が必要と判断される場合には、主な搬送経路の被害情報の把握や、ヘリ搬送のための場外離着陸場(東部:38箇所選定済)のうち使用場所を速やかに選定できるよう、県(保健医療福祉対策本部)との連携強化に努めたい。
〈東部医師会〉 ・ 東部医師会の役割について、死体検案についての記載があるが、記載ページによって「死体検案書の作成」や「死体の検案の協力」など表現が様々で、どの程度関わるのか良く解らない。(p4,p7,p21)	・ 検視、死体検案は、検察(警察)が実施主体であり、死亡者を対象に、基本的に遺体安置所で実施されるものであるが、大規模災害時では医療救護所の近隣等で一体的に実施されることも想定されるため記載した。 ・ 東部医師会の役割からは削除し、医療救護所の取組の一部として、遺体の適切な取扱い、検察(警察)からの依頼に基づく死体検案への対応として記載する。